



学校だより 11月号

～和・希望・自立～

令和4年11月10日
福岡県立久留米聴覚特別支援学校

～仲間と共に、成長した姿を～

校長 いけぞま まさかず 池添 昌和

「朝の大気には言いしれぬ魅力がある。(・・・)何かはっきりと目に見える色調ではなく、いかにも柔らかな透明さによるものであろう。大気全体が、こころもち青みを帯びて、異常なほど澄み渡っている。そのためどんなに遠くにあるものも、驚くほどくっきりと焦点が定まって見えてくる。(仙北谷晃一訳)」

ラフカディオハーンが船上にあって日本に上陸の時が迫っていることに胸を躍らせた際の一節です。私は、なじみのない街を朝早く歩いているとこのような心持ちになります。遠い昔、日本の梅雨に似たじととした空気の中でかの地で記者をしていたハーンに思いを巡らせながらミシシッピ川の河川敷でぼんやりと川を眺めていたことがありました。夕刻が迫る喧噪とジャズのメロディが溢れた旧市街地からちょっとはずれたこの場所は、朝の凜とした空気とは両極でしたが、私にとっては忘れられない風景になっています。

2学期に入り、小学部高学年、中学部2年生の修学旅行、そして、九州陸上大会を無事実施することができました。子どもたちにとって県外での宿泊ということもあり、心躍る数日間だったと思います。しかしながら制約のある旅行だったので、子ども達の中にはもう少し楽しみたかったと感じている子どもいたかもしれません。しかし私は、楽しいことについての少々の物足りなさは、次の楽しみにつながるように思えます。子どもたちが、大人になっていく過程で、初めて訪れる場所に限らず身近なところでも自分だけの心に残る景色を見つけてくれればいいなと思っています。

さて、先日行われた文化祭では、多くの方々にご来校頂き盛況の中で開催することができました。午前中のステージ発表のみの実施となりましたが、3年振りの思いを込めて取り組んできた子ども達は、これまでの成果を存分に発揮することができました。一人の子どもの出番は限られたものでしたが、そこには、笑いあり、涙あり、子ども達、そして、それを見守る方々、一人一人にドラマがあったのではないのでしょうか。改めて本校の子ども達の本番に臨む心の強さと成長を感じることができ、私にとって忘れられない風景の一つになりました。本当にありがとうございました。来年度は、たとえ with コロナの状況が続いても数年前のような終日にわたる文化祭が復活することを切に願っています。



文化祭テーマ:ベストメモリー～元気いっぱい笑顔の花を咲かせよう～

幼稚部



幼稚部全員が初めての文化祭で、大勢のお客さんを前に緊張しながら最後まで頑張りました。忍者が大好きな子供たちは、練習の時だけでなく、トイレや教室移動の時も忍者になりきっていました。技はカッコよく、セリフは大きく、ポーズは個性があふれ、ダンスは楽しくと、可愛くてカッコいい「にんにんにんじゃ」でした。

小学部



1・2年生は社会見学で行った動物園・水族館の謎についてのクイズ、3・4年生は外国の文化についての表現発表、5・6年生は修学旅行と校外学習を通して学んだ戦争の悲惨さを、えがおグループは毎年行っている夏(秋)祭りについて発表しました。どの児童も、練習の成果を存分に発揮し堂々と発表できました。

中学部



中学部は、聴覚特別支援学校の大切さをテーマに劇を行いました。過去、手話を使えない時代があったこと、多くの聞こえない先輩たちの努力で今の学校があること、将来、大切な母校を守っていくためにはどうすれば良いのかを伝えるために、生徒が知恵を絞り、台本を考えました。背景も生徒たちで準備を行い、中学部の生徒が力を合わせて、劇を作り上げることができました。

【11月の行事予定】

- 1日 (火) 登校指導
- 3日 (木) 文化祭(文化の日→振替休日:4日)
- 7日 (月) 全体授業研究会(5時間授業)
- 9日 (水) チャレンジド保護者会、中:授業参観・相談会
- 10日 (木) 幼:身体測定、小中:パワフルキッズタイム
- 11日 (金) 外部専門家活用事業、小3:高良内小交流
- 12日 (土) 保護者教室
- 14日 (月) スクールカウンセリング
- 15日 (火) 乳相:動物園見学、中3:修学旅行(関西方面:~17日)
- 17日 (木) 小低:読み聞かせ
- 18日 (金) 幼:秋の遠足 小高:自然体験学習、保護者教室
- 22日 (火) 小3:高良内小交流
- 24日 (木) PTA評議委員会
- 28日 (月) 中:2学期考査(~30日)
スクールカウンセリング、保護者教室
- 30日 (水) 小:佐賀ろう交流、中:暴力団排除教室

